



創立87周年

武の子

かしこく うつくしく たくましく
(since 1969)

鹿児島市立武小学校 学校だより
〒890-0045 tel099-255-6136
鹿児島市武1丁目35番31号
<http://www.keinet.com/takes/>

5月号

児童数
599名
学級数
24学級

令和5年5月

わかくさの像



学校長 杉木 正一郎

武小学校の校舎前に、わかくさの像があります。今から27年前、武小学校が創立60周年のときに建てられたものです。私は、校庭の方を向いて立っているこの像が着任当初から大変気になっていました。

人が2人、ランドセルを背負っているのが小学生だと分かります。朝、登校するところなのか、それとも下校するところなのか。この2人は姉弟なのか、友達なのか。

2人とも雨靴を履いていて、前の子はレインコート姿、手を左右に大きく広げて、顔は上を向いて、大きく口を開けています。何か言っているのか、それとも歌っているのか。後ろの子は傘を持っていますが、傘は後ろの方に向いています。どうやらついさ

っきまで降っていた雨が止んだようです。後ろの子も顔は上を向いています。この2人は同じ方を見えています。何を見ているんだろう、どんなことを考えているんだろう。何かおしゃべりしているんだろうか。

像ですので、動いたり、考えたり、おしゃべりしたりすることはありませんが、でもこんなふうに、いろいろと想像しながら見ていると、この2人がここに来るまでにどんなことがあって、このあとどんなことが起こるのか。物語の、ある一つの場面を見ているようにも思えてきます。

私の友人の彫刻家にこの像の写真を送ってみたところ、鹿児島市出身の彫刻家、上床利秋さんの作品だとすぐに教えてくれました。作品の題名は、「雨のち晴れ」ということも分かりました。ぜひお会いしてお話をうかがってみたいと思い、上床さんに連絡を取ってみました。うれしいことに上床さんからお返事をいただき、今年のゴールデンウィークに、鹿児島県歴史資料センター黎明館で開催される作品展に上床さんが最新の作品を出品すること、5月4日には展示会場で上床さんがギャラリートークを行うことを教えてくださいましたので、お会いしに行ってきました。

初めてお会いしましたが、本当に気さくにいろいろなこととお話してくださいました。わかくさの像をつくられた時のこともよく覚えておられ、この2人は姉と弟であること、弟の方はとても元気があり、少しやんちゃで、雨上がりの水たまりにビチャンと足を踏み入れ、水しぶきをとばすような子をイメージして作ったこと、武小学校の子供たちもこの子たちのように上を向いて元気に明るく育ててほしいと願ってこの作品を作ったこと等をお話してくださいました。とても貴重なお話を聞くことができました。

ぜひみなさんも学校にお越しの際はこの像の前に立ってみていただければと思います。そして、この像からどんなこと、どんな物語が思い浮かぶか、いろいろな方向からじっくりと見てみて、お話を考えてみるのもいいかと思えます。